

## 第1章

# 越谷市の環境の概況



産業フェスタ 「浄化槽維持管理啓発の展示」

# 第1章 越谷市の環境の概況

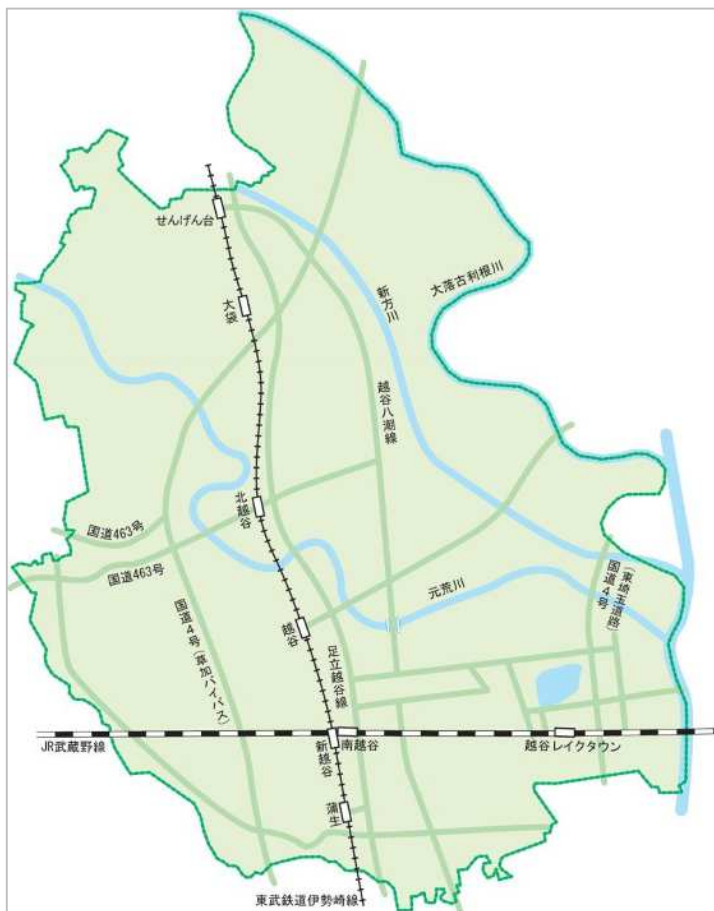
## 第1節 越谷市の概要

### 1. 位置・面積・地勢

本市は、埼玉県の一部に位置し、東京都心から北へ25kmという地理的環境にあります。市域は、東西に8.6km、南北に11.5kmで、面積は60.24km<sup>2</sup>（平成26年10月1日 国土地理院計測）あります。

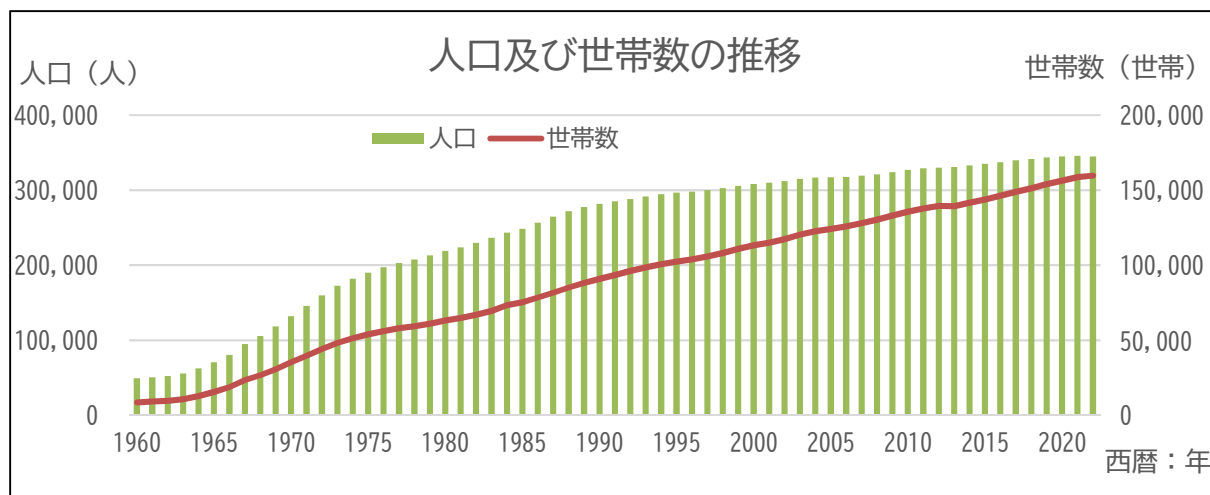
本市の地勢は、大宮台地と下総台地にはさまれた中川流域の沖積平野に位置しており、高低差の少ない、平坦な地形となっています。また、元荒川、大落古利根川、綾瀬川、新方川、中川の一級河川や、葛西用水、末田大用水、谷古田用水など多くの河川・用水が流れ、古くから「水郷こしがや」と呼ばれてきました。

鉄道は東西にJR武蔵野線、南北に東武鉄道伊勢崎線（愛称：東武スカイツリーライン）が走り、道路は国道4号と国道463号の2本の国道が走っています。



### 2. 人口

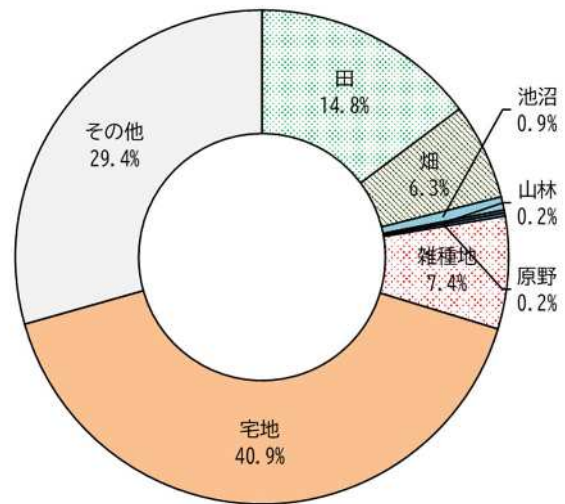
本市は、昭和37年に地下鉄日比谷線が北越谷駅まで相互乗り入れを開始後、人口が急激に上昇し、昭和42年には人口増加率のピークを迎えました。その後、昭和48年まで年間1万人の増加が続き、徐々に緩やかな増加傾向となっています。また、世帯数は継続して増加している一方、1世帯当たりの人数は減少傾向が続いています。令和5年4月1日現在、人口は343,644人、世帯数は160,965世帯、1世帯当たりの人数は約2.1人となっています。



### 3. 土地利用

本市は、市域の全域が都市計画区域に指定されており、市街化区域が28.72km<sup>2</sup>(市域の47.6%)、市街化調整区域は31.59km<sup>2</sup>(市域の52.4%)となっています。(平成30年1月)

地目別土地面積は、約50年前と比較すると、約7割を占めていた田畑の面積が大幅に減少し、宅地の面積が12.9%から40.9%に増加しています。



### 4. 産業

「令和3年経済センサス-活動調査」によると、越谷市の事業所数は10,579事業所となっています。産業分類別に見ると、「卸売業、小売業」がもっとも多く、2,721事業所、次いで「宿泊業、飲食サービス業」1,217事業所、「生活関連サービス業、娯楽業」1,072事業所と続いています。

(注) 本調査において個人経営の農・林・漁業、国又は地方公共団体の機関は除かれる。

出典：「令和3年経済センサス-活動調査結果」(総務省統計局)を加工して作成

産業大分類	令和3年	
	事業所数	従業者数
<b>総数</b>	<b>10,579</b>	<b>112,120</b>
農林漁業	18	104
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
建設業	1,015	7,828
製造業	888	11,759
電気・ガス・熱供給・水道業	4	6
情報通信業	88	533
運輸業、郵便業	345	10,602
卸売業、小売業	2,721	27,641
金融業、保険業	160	2,373
不動産業、物品賃貸業	679	3,852
学術研究、専門・技術サービス業	424	2,183
宿泊業、飲食サービス業	1,217	11,311
生活関連サービス業、娯楽業	1,072	5,635
教育、学習支援業	425	4,536
医療、福祉	973	17,252
複合サービス事業	28	249
サービス業(他に分類されないもの)	522	6,256

### 5. 気候

本市を含む埼玉県的气候は、太平洋側気候に属しています。冬は北西の季節風が強く、晴天の日が多くて空気が乾燥します。夏は日中かなりの高温になり、雷の発生が多く、降ひょうも多いのが特徴です。また、県東南部の平野に位置することから、海洋性の特徴も見られます。

過去5年間の越谷市の気象データ

年	天気日報					気温(℃)			平均湿度(%)	総降雨量(mm)	平均風速(m)	最多風向
	快晴	晴	曇り	雨	その他	最高	最低	平均				
H30	80	137	112	32	4	38.6	-3.7	16.7	70.3	1,138.5	2.2	北西
R元	84	110	131	38	2	37.3	-2.0	16.3	70.5	1,408.5	2.2	北西
R2	79	125	119	42	1	38.7	-3.1	16.3	71.6	1,243.5	2.1	北西
R3	95	121	105	44	0	37.4	-4.4	16.4	64.9	1,520.5	1.9	北北西
R4	57	152	119	36	1	39.2	-4.2	16.2	67.6	1,177.0	1.9	北北西

資料：消防本部・指令課

## 6. 交通

本市の鉄道は、東武鉄道伊勢崎線が市の中央を南北に、JR 武蔵野線が市の南部を東西に運行しており、市内に 8 駅が立地しています。市内鉄道駅の 1 日平均乗車人数の合計は令和 2 年で 207,680 人となっています。

また、令和 3 年 12 月時点でバス路線は民間バス事業者 6 社によって 81 系統が運行されており、令和 2 年度の 1 日平均利用者数の合計は、23,812 人となっています。

公共交通の 1 日利用者数の推移

(単位：人)

	市内路線バス 1 日平均利用者数	市内鉄道駅 1 日平均乗車人員
H29	29,795	277,972
H30	29,936	280,236
R 元年	22,022	277,916
R2	23,812	207,680
R3	27,245	229,599

## 7. 都市公園

本市には、越谷総合公園や、出羽公園などの都市公園や、越谷梅林公園、大吉調節池親水公園など数多くの公園が立地しています。都市公園は 111 箇所、面積の合計は 92.884ha となっています（令和 4 年 4 月時点）。

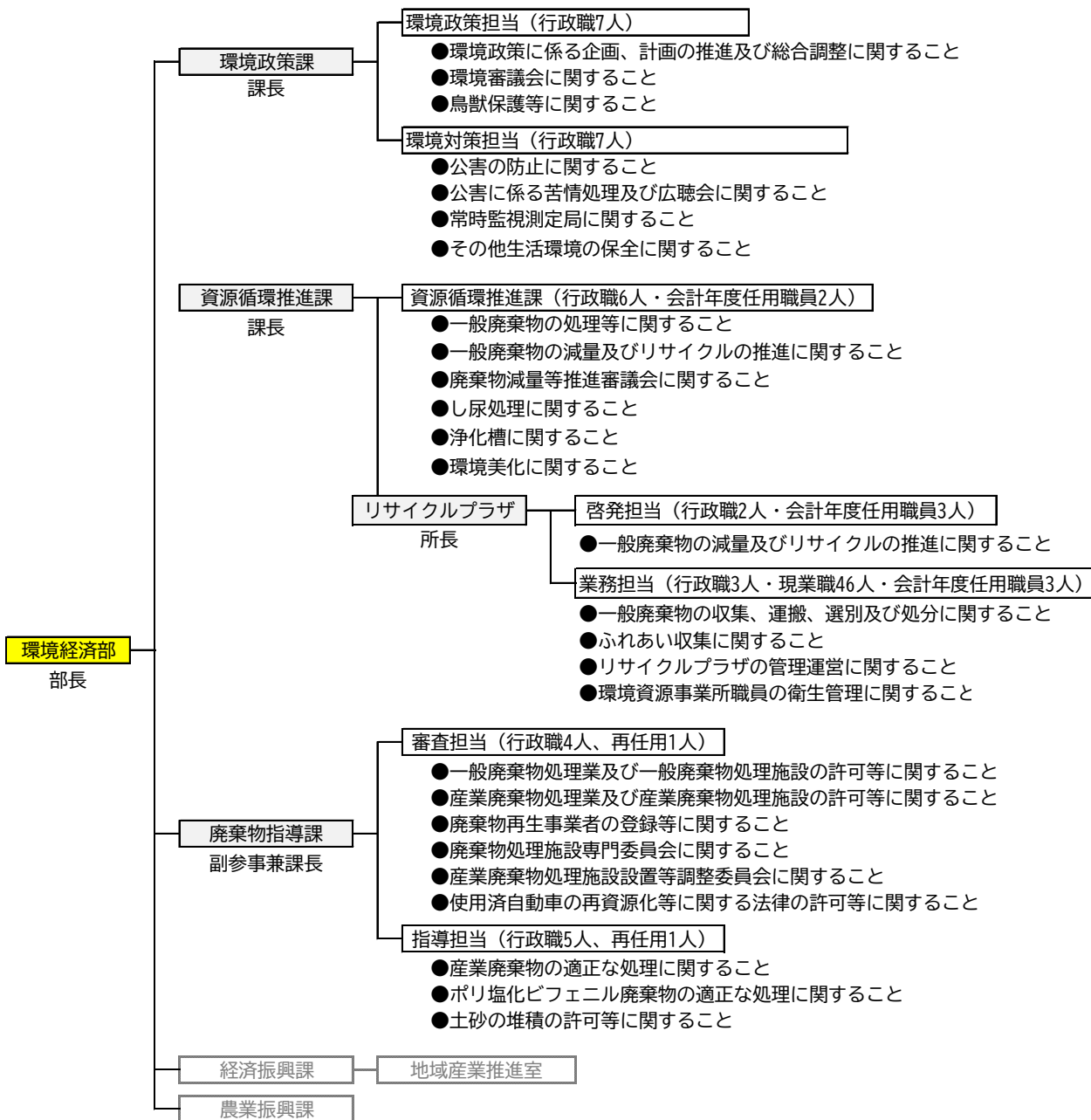
緑地・都市公園の分布



## 第2節 環境行政のあらまし

### 1. 環境行政の体制

#### 1-1 環境行政組織図（令和5年4月1日現在）



## 1-2 附属機関（審議会等）

### (ア)環境審議会

環境の保全及び創造に関する基本的事項及び重要事項を調査審議するため、越谷市環境条例第 25 条に基づき、設置されています。

大熊 正行	越谷商工会議所 常議員
渡辺 智子	東京電力パワーグリッド(株)川口支社 草加事務所長
大野 聡史	一般社団法人 越谷青年会議所 50代理事長
島村 稔	越谷市農業団体連合会 副会長
◎小松 登志子	埼玉大学 名誉教授
船山 智代	文教大学 教育学部 化学研究室 教授
○浜本 光紹	獨協大学 経済学部 教授
永島 達也	国立研究開発法人国立環境研究所社会システム領域 脱炭素対策評価研究室 主席研究員
嶋田 知英	埼玉県環境科学国際センター 研究企画室長
三澤 善道	特定非営利活動法人 越谷ふるさとプロジェクト 代表
石井 秀夫	埼玉県生態系保護協会 越谷支部長
星野 智子	一般社団法人 環境パートナーシップ会議 副代表理事
九津見 和正	公募市民
田村 清一	公募市民
小松 幸彦	公募市民

◎：会長 ○：副会長（令和5年7月1日現在）

### (イ)廃棄物減量等推進審議会

総合的な廃棄物の減量等に関する事項を審議するため、越谷市廃棄物の処理及び再利用に関する条例第 7 条に基づき、設置されています。

久保 直紀	プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事
櫻井 孝史	公益財団法人 古紙再生促進センター 常務理事
並木 潤太	越谷商工会議所 工業部副会長
◎小松 登志子	埼玉大学 名誉教授
浅井 勇一郎	獨協大学 経済学部 国際環境経済学科 特任助手
川崎 幹生	埼玉県環境科学国際センター 資源循環・廃棄物担当部長
秋元 智子	認定特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉 事務局長
鬼沢 良子	特定非営利活動法人 持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長
○深井 晃	越谷市自治会連合会 副会長
河上 繁	越谷市コミュニティ推進協議会 監事
草場 澄江	特定非営利活動法人 埼玉フードパントリーネットワーク 理事長
関根 博樹	公募市民
藤井 昌人	公募市民
須田 芳恵	公募市民
富沢 二三子	公募市民

◎：会長 ○：副会長（令和5年3月31日現在）

### (ウ)廃棄物処理施設専門委員会

廃棄物処理施設の設置許可に当たり、周辺地域の生活環境の保全及び周辺の施設に適正な配慮がなされたものであるかどうかについて、専門的知識を有する者の意見を聴くため、越谷市廃棄物の処理及び再利用に関する条例第 17 条の 2 の規定に基づき、設置されています。

荒井 喜久雄	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
河村 清史	(元) 埼玉大学大学院 理工学研究科教授
川本 健	埼玉大学大学院 理工学研究科教授
藤吉 秀昭	一般財団法人 日本環境衛生センター 副理事長
松本 泰尚	埼玉大学大学院 理工学研究科教授

(令和5年4月1日現在)

### (工)産業廃棄物処理施設設置等調整委員会

産業廃棄物処理施設の設置等に係る紛争の予防及び調整に関する重要事項について調査、審議するため、越谷市産業廃棄物処理施設の設置等の手続に関する条例第 23 条の規定に基づき、設置されています。

江原 智	江原総合法律事務所 弁護士
篠崎 淳	篠崎法律事務所 弁護士
川本 健	埼玉大学大学院 理工学研究科教授
松本 泰尚	埼玉大学大学院 理工学研究科教授

(令和5年4月1日現在)